

復帰の操作 (ガスが使えないとき)

① すべてのガス器具を止める
 ※屋外のガス器具も忘れずに
 つまみを戻す

② 復帰ボタンのキャップを外す
 ※マイコンメーターの設置場所 → 3 ページ
 左に回して取り外す
 メーターガス栓は開けたまま

③ 復帰ボタンをしっかりと奥まで押し込み、ゆっくり手を離す
 2秒待つ
 ゆっくり離す
 ※ランプが点かないこともあります。
 赤いランプが点灯した後、また点滅が始まります。

④ ガスを使わないで3分待つ
 点滅が消えていたら、ガスが使えます
 ※ランプが点かないこともあります。
 消えないときは、もう一度①から。
 キャップを元に戻す

それでも使えないときは 東京ガスお客さまセンター(裏表紙)までご連絡ください。

お問い合わせ

東京ガスお客さまセンター

一般お問い合わせ先

受付時間 月～土 9:00～19:00
 日・祝 9:00～17:00
 (マイコンメーターが復帰しない場合は 24 時間 365 日受付)

電話: 0570-002211(ナビダイヤル)
 ※フリーダイヤルではありません。

※IP電話のお客さまは下記の電話番号へおかけください。
 電話: 03-3344-9100

ガス漏れ通報専用電話 (24時間 365日受付)

電話: 0570-002299(ナビダイヤル)
 電話: 03-6735-8899(IP電話)

※FAX 受付サービス(耳やことばの不自由なお客さま向け)
 FAX: 03-3344-9393

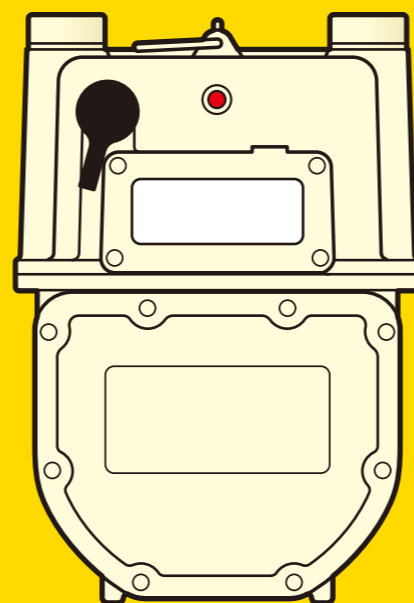
●東京ガスの各種情報をホームページでご紹介しています。
<http://www.tokyo-gas.co.jp>

エネルギー・フロンティア
 TOKYO GAS

ガスメーター マイコンメーター (NB型、JB型、KB型、LB型、AB型 1～6号用)

保存版

ご使用の手引き



ガスくさい 次ページへ

ガスが使えない 次ページへ

赤く点滅している 中面へ

どんな機能があるの? 中面へ

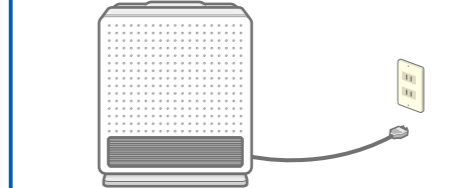
この手引きをお読みになったあとは、いつでも見られるところに**必ず保管**してください。
 「安全上のご注意」(6ページ)を必ずお読みください。

ガスが使えなくなったときは

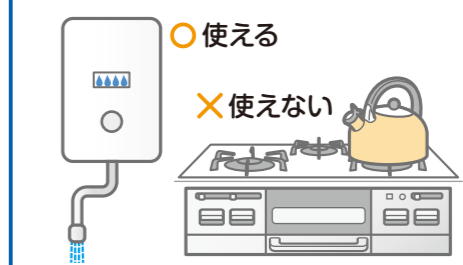
ガスくさいですか? →
 ↓ くさくない ↓ くさい

お使いのガス器具を
まず確認!

- 乾電池が消耗していませんか?
 ガスコンロ、湯沸し器など
- 電源コードが抜けていませんか?



●他のガス器具は使えますか?



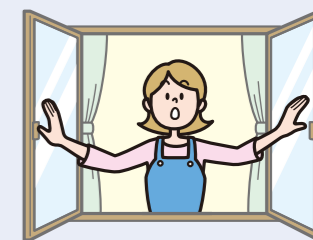
↓ 使えるものもある

使えないガス器具が故障している可能性があります
 ガスのご契約先やガス器具の販売店にご相談ください。

絶対に火をつけない
 火気厳禁

ガスもれの可能性があります

① 窓を大きく開ける。



② すべてのガス器具を止める。
 器具栓、ガス栓、メーターガス栓(3ページ)を閉める。

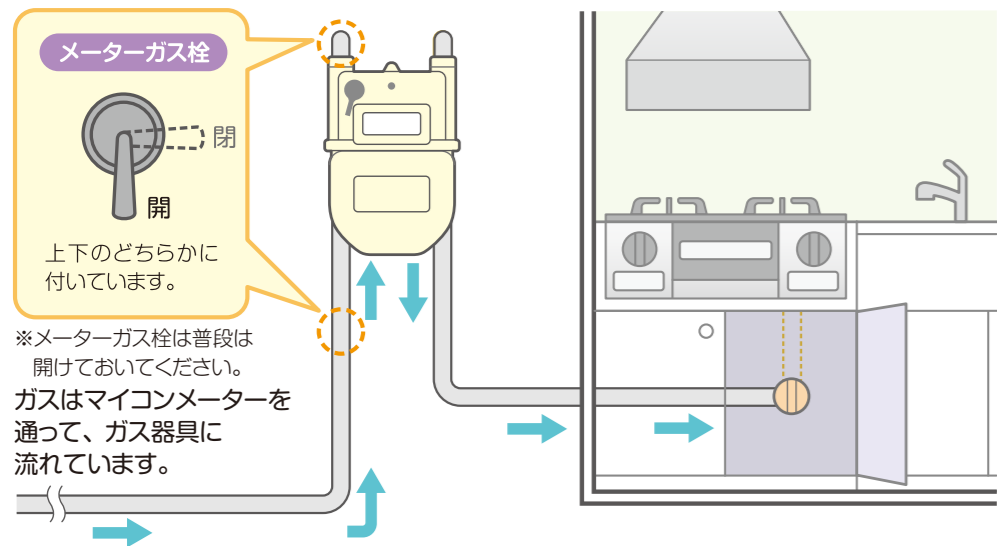
③ ガスもれ通報専用電話(裏表紙)に連絡する。

すべて使えない 復帰とは
 再びガスを使えるようにすることです。

復帰の操作(2ページ)を行ってください。

マイコンメーターの役割

マイコンメーターは、いつもガスの流れを見守っています



マイコンメーターの設置場所例

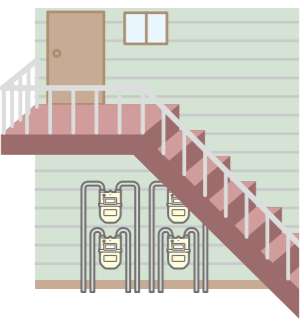
マンション・アパートの場合

玄関脇や共用廊下のメーターボックス内に設置



共用廊下

外に並べて設置



一戸建ての場合

屋外・玄関付近の外壁に設置



- お客さまへ**
- マイコンメーターは東京ガスの所有物ですので、分解、塗装、廃棄などはしないでください。
 - 計量法の定めにより、10年に1回無料で取り替えます。

マイコンメーターの主な安心機能

マイコンメーターには、異常を感知する機能があります

ランプが点滅し、自動的にガスを止めます

- ① 異常に多くのガスが流れたとき
- ② 流れるガスの圧力が低下したとき
- ③ 震度5強相当以上の揺れを感知したとき
- ④ 長時間一定量のガスが流れたとき

ランプは点滅しますが、ガスは止めません

- ⑤ 30日間連続してガスの流れを感知し続けたとき(微小もれ疑い警報)

- 自動的にガスが止まっても、ガスもれがない場合は、復帰の操作(2ページ)を行うと、ガスが使えるようになります。
- マイコンメーターの故障や電池切れ、東京ガスがガスをお止めした場合などでは、ランプが点滅しないことがあります。

① 流量オーバー遮断

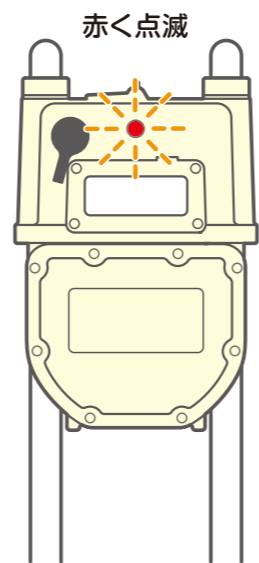
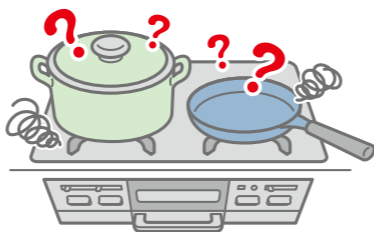
メーターの大きさ別に定めるガス量を超えて、多量にガスが流れると(ガス管の破損や大型ガス器具の追加などの場合)自動的にガスを止めます。

- 新たに大型のガス器具(給湯器・床暖房・風呂釜など)を取り付ける場合は、東京ガスお客さまセンターにご相談ください。

② 圧力低下遮断

何らかの原因でガスの圧力が低下したときに、自動的にガスを止めます。

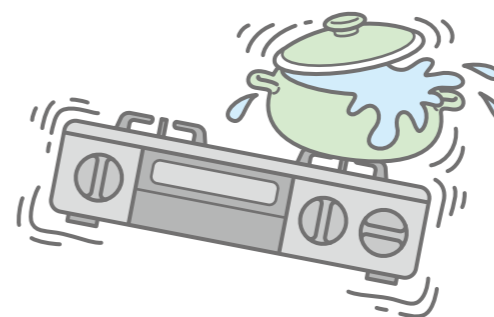
- ガスの流れを感知しない場合には、ガスを止めません。



③ 感震遮断

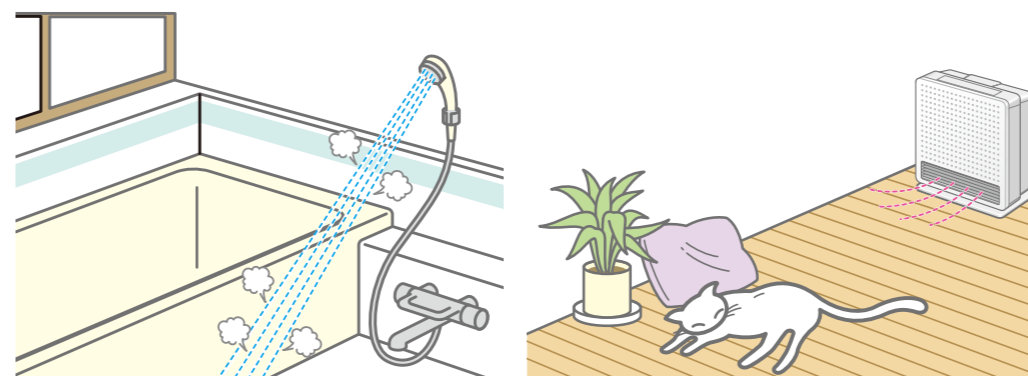
震度5強相当以上の大きな揺れを感知すると、自動的にガスを止めます。

- 震度はマイコンメーターの揺れかたで判断しますので、気象庁発表のものとは異なる場合があります。
- マイコンメーターに物(自転車や荷物、ボール)がぶつかったときも、ガスを止めることがあります。



④ 継続時間オーバー遮断

ガスが連続して一定に流れ続けると、所定時間で自動的にガスを止めます。所定時間は、お湯の連続使用やガス器具の長時間利用など、お客さまの使用状況(流れるガスの量や時間)を考慮して設定しています。



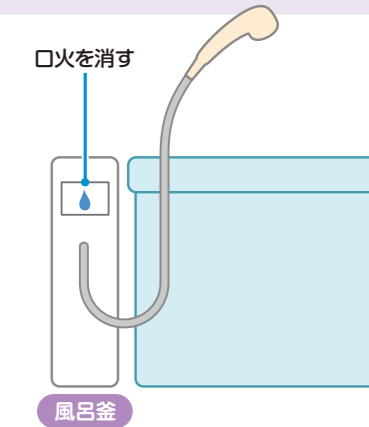
- 風呂の沸かしすぎや、なべの焦げ付きを防止するものではありません。

- 何度もこの機能が動いてガスが止まる場合は、東京ガスお客さまセンターにご相談ください。
- お客さまのガス器具や使用条件によっては、遮断するまでの時間を長くしたり、遮断しないようにも変更できます。

⑤ 微小もれ疑い警報

30日以上連続してガスの流れを感知し続けると、微小なガスもれの疑いがあると判断します。ガスは止めずに、ランプの点滅のみでお知らせします。(ガスはお使いになれます。)

- ランプが点滅したときは、1時間以上すべてのガス器具を止めて、ランプが消えることを確認してください。
- ガス器具をお使いにならないときは、口火を消してください。



- ガス器具を1時間以上止めてもランプが点滅しているときは、東京ガスお客さまセンターにご連絡ください。
- 床暖房などのガス器具を30日以上、止めずにお使いになりたい場合は、東京ガスお客さまセンターにご相談ください。
- 口火のガス量をガスメーターに記憶させ、警報を出さないようにも設定できます。

※マイコンメーターが感知できるガス流量より少ない場合は、警報を出せないことがあります。

安全上のご注意

⚠ 危険

ガスもれに気づいたら…

- 絶対に火をつけない
- 電気器具のスイッチの入/切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

⚠ すぐにガス器具を止める

- ① 窓を大きく開ける。
- ② すべてのガス器具、メーターガス栓(3ページ)を閉める。
- ③ ガスもれ通報専用電話(裏表紙)に連絡する。

⚠ 注意

- メーターガス栓は、普段は開けたままにしておく
- メーターガス栓を閉めると、⑤微小もれ疑い警報が正しく機能しません。

マイコンメーターは、このような機能がありますが、すべてのガスもれや、てんぷら火災、排ガス中毒事故など、あらゆる事故を防止するものではありません。個別の設定内容を確認したい場合は、東京ガスお客さまセンターまでお問い合わせください。